



# 白河市 議会だより

2023.8.21

6月定例会  
7月臨時会

VOL.71

市議会へようこそ!



## 〈令和5年6月定例会・7月臨時会〉

### 目次

- ・新たな体制で臨みます…………… 2～3 p
- ・議員紹介と4年間の抱負…………… 4～5 p
- ・6月定例会…………… 6 p
- ・請願・意見書…………… 7 p
- ・各常任委員会の審査…………… 8～9 p
- ・一般質問…………… 10～13 p
- ・令和4年度政務活動費収支報告…………… 13 p
- ・9月定例会予定／小学生が市役所見学ほか／編集後記… 14 p



# 新たな体制で臨みます

7月臨時会が7月25日に開催され、議員の任期満了に伴う選挙等が行われ、議長に筒井孝充議員、副議長に佐川京子議員を選出するとともに、議会運営委員会委員、各常任委員会委員並びに白河地方広域市町村圏整備組合議会議員、白河厚生総合病院運営委員会委員、都市計画審議会委員、監査委員が決まりました。

## ぐあいさつ

市民の皆様には、日頃から市議会活動並びに市政各般にわたりご理解とご協力をいただき心から感謝申し上げます。

この度、7月臨時会におきまして議員各位のご推挙により議長の要職に就任いたしました。身に余る光栄であるとともに、その責任の重さに身の引き締まる思いであります。

現在、地方自治体を取り巻く環境は、少子高齢化や人口減少問題、自然災害への防災・減災の対応など、取り組むべき課題が山積しております。

こうした様々な難局を乗り越えていくため、二元代表制の一翼を担う市議会の果たす役割と責務は大変重要であります。

市議会としましては、引き続き、市民の皆様の声に真摯に耳を傾け、開かれた議会を目指すとともに、執行部と議会が車の両輪のごとく力を合わせて、市民福祉の向上と地域社会の活力ある発展のために、議員一丸となって英知を結集し全力を尽くしてまいります。

また、デジタル社会への対応として、タブレット端末などを活用した、議会資料の共有など、議会のICT化を積極的に進め、効率的な議会運営を目指していきます。

市民の皆様におかれましては、今後とも、市議会に対しましてより一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

### 議長



筒井 孝 充

### 副議長



佐川 京 子

### 議会運営委員会

議会の円滑な運営を行うため、議事の順序や進め方、意見調整を図ります。

- ①議長の諮問に関する事項
- ②議会の運営に関する事項
- ③議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項
- ④意見書・決議に関する事項

委員 長	石 名 国 光
副委員 長	大 竹 功 一
委 員	大 植 村 美 洋
	鈴 木 裕 哉
	戸 倉 宏 一
	根 本 建 一
	室 井 伸 一
	菅 原 修 一

※各会派から選出された議員で構成



室井 菅原 根本 戸倉 鈴木 植村  
石名 大竹



### Point 市議会議員とは

市議会議員	○定数/24人
	○任期/令和5年7月9日～令和9年7月8日(4年間)
会派	選挙は4年に一度行われます。議員になることができるのは25歳以上の市民で、選ぶことができるのは18歳以上の市民です。
	市政に対して同じ考えや意見を持っている議員が集まり、その考えを市政に反映させるために活動するグループのことで、議会運営上、重要な機能を持っています。
副議長と議長	議員の中から選挙で選ばれます。議長は議会を代表し、会議を円滑に進める大切な役割を持っています。副議長は、議長が不在のときに代わりを務めます。
	任期は4年ですが、申し合わせにより2年に一度改選があります。



# 新しい委員会・広域圏議会議員等の構成は 以下のとおりです

## 広域圏議員・各委員・監査委員

### 白河地方広域市町村圏整備組合議員

筒井 孝充 北野 唯道  
根本 建一 佐川 琴次

消防、救急医療、ごみ処理、水道用水の供給等に関する重要事項について審査等を行います。

### 白河厚生総合病院運営委員会委員

筒井 孝充 佐川 京子  
高島 裕 吉見優一郎

地域医療の確保など病院の運営に関わる重要事項について審査等を行います。

### 都市計画審議会委員

水野谷正則 菅原 修一  
遠藤 公彦

市が決定する都市計画について調査・審査等を行います。

### 監査委員

高橋 光雄

財務について法令違反していないか、効率的に行われているか監査します。

## 市民産業常任委員会

①市民生活部②産業部③農業委員会の所管に属する事項の審査を行います。

委員 長 高 島 裕  
副委員 長 根 本 建 一  
委 員 植 村 美 洋  
藤 田 文 夫  
石 名 国 光  
高 橋 光 雄



藤田 石名 高橋 植村  
高島 根本

## 総務常任委員会

①市長公室②総務部③会計課④選挙管理委員会⑤監査委員の所管に属する事項並びに他の委員会に属さない事項の審査を行います。

委員 長 室 井 伸 一  
副委員 長 戸 倉 宏 一  
委 員 大 木 絵 理 生  
緑 川 摂 生 一  
大 竹 功 一  
筒 井 孝 充



大竹 緑川 大木 筒井  
室井 戸倉

## 議会報編集委員会

議会の活動状況を広く伝えて、議会に対する理解と認識を深めるため、議会報を定例会ごとに発行します。

委員 長 佐 川 京 子  
副委員 長 戸 倉 宏 一  
委 員 永 山 均 次  
佐 川 琴 次  
根 本 建 一  
大 竹 功 一



佐川(琴) 根本 大竹 永山  
佐川(京) 戸倉

## 建設水道常任委員会

①建設部②水道部の所管に属する事項の審査を行います。

委員 長 鈴 木 裕 哉  
副委員 長 永 山 均 彦  
委 員 遠 藤 公 彦  
北 野 唯 道  
水野谷 正 則  
大 花



大花 北野 水野谷 遠藤  
鈴木 永山

## 教育福祉常任委員会

①保健福祉部②教育委員会の所管に属する事項の審査を行います。

委員 長 吉 見 優 一 郎  
副委員 長 佐 川 琴 次 夫  
委 員 柴 原 隆 夫 一  
菅 原 修 一 子  
佐 川 京 子  
深 谷 弘



柴原 深谷 佐川(京) 菅原  
吉見 佐川(琴)

# 今こそ 郷土愛と 市民共楽のまちに

## 24議員 4年間の議会活動スタート

白河市議会は7月25日、改選後の臨時議会を開催。議長に筒井孝充議員、副議長に佐川京子議員を選出しました。(任期は4年ですが、2年に一度改選があります)

全議員24名による議長選の結果は、柴原隆夫議員6票、筒井孝充議員7票、石名国光議員6票、藤田文夫議員4票、深谷弘議員1票でした。

副議長選は大花務議員6票、佐川京子議員13票、水野谷正則議員3票、無効が2票でした。

議会は今から4年間、市民の代表者、奉仕者として各議員が掲げた抱負に向けて、積極的に活動を展開してまいります。

東



えんどう きみひこ  
**遠藤 公彦**  
【当選1回・61歳】  
使命感を持って  
市民の声を市政  
に届けます。



さがわ きんじ  
**佐川 琴次**  
【当選2回・67歳】  
対話を常に心がけ、  
市政に反映させます。



みずの やまさのり  
**水野谷 正則**  
【当選6回・59歳】  
故郷は子や孫への  
贈りもの

表郷



ねもと けんいち  
**根本 建一**  
【当選3回・59歳】  
「住んで良かったまちづくり」頑  
張ります。



みどりかわ せつお  
**緑川 摂生**  
【当選4回・64歳】  
福祉の向上。特に  
悩み事相談に力を注ぎます。



ふじた ふみお  
**藤田 文夫**  
【当選6回・68歳】  
防災力強化など  
安全で安心な社会の構築

# 数字で見る議員像

R 5.7.9現在

- 最年少議員 36歳
- 最年長議員 83歳
- 平均年齢 63.38歳
- 最長在職年数 27年
- 女性議員数 2人
- 議員報酬月額

議長 463,000円  
副議長 406,000円  
議員 385,000円

## 大信



ながやま ひとし  
**永山 均**  
【当選1回・56歳】  
住んでいて良かったと誇れる地域にする。



とぐら ひろかず  
**戸倉 宏一**  
【当選2回・69歳】  
安全で安心な暮らしを守る新しい白河の創生



きたの ただみち  
**北野 唯道**  
【当選5回・83歳】  
議員とはどうあるべきか日々顧みる



うえむら よしひろ  
**植村 美洋**  
【当選1回・66歳】  
歴史と文化の薫り高い、魅力ある街づくり



おおき えり  
**大木 絵理**  
【当選2回・36歳】  
皆さまから親しまれる議員・議会を目指す



よしみ ゆういちろう  
**吉見 優一郎**  
【当選2回・38歳】  
未来の白河のために誰もが住みよい街づくり



すずき ゆうや  
**鈴木 裕哉**  
【当選2回・51歳】  
日々、皆様のお役に立てる議員を目指します



たかはた ゆたか  
**高畠 裕**  
【当選2回・58歳】  
市民の皆様が幸せを感じる街づくりに尽力



むろい しんいち  
**室井 伸一**  
【当選4回・58歳】  
市民に寄りそって伴走型支援に努めて参ります



しばはら たかお  
**柴原 隆夫**  
【当選4回・74歳】  
明日の白河へ一呼吸、一呼吸に情熱をそそぐ



すがわら しゅういち  
**菅原 修一**  
【当選5回・72歳】  
市民に開かれた議会づくりを目指します



さがわ きょうこ  
**佐川 京子**  
【当選6回・62歳】  
夏空に市民幸福市政発展に貢献する事を誓う



おおはな つとむ  
**大花 務**  
【当選6回・73歳】  
白河市発展のために大きな花を咲かせよう！

## 白河



いしな くにみつ  
**石名 国光**  
【当選6回・75歳】  
市民の「声・要望」を届ける活動を続けます。



たかはし みつお  
**高橋 光雄**  
【当選6回・75歳】  
私は、市民の利益にどうか否かで判断します



おおたけ こういち  
**大竹 功一**  
【当選7回・59歳】  
開かれた市議会となるように働きたい。



ふかや ひろし  
**深谷 弘**  
【当選8回・69歳】  
市民の願いを市政に届け、実現に力を尽くす。



つつい たかみち  
**筒井 孝充**  
【当選7回・66歳】  
市民の声を行政に届け豊かな街づくりに専念

# 6月定例会

6月定例会が、5月30日から6月12日までの14日間の会期で開かれました。開会日に鈴木市長より提案理由の説明があり、一般質問では9名の議員がそれぞれ市の考えを質しました。

市長提出議案は11件で、専決処分、白河市印鑑条例の一部を改正する条例を含む条例案、単行議案、令和5年度6月補正予算を審議し、いずれも原案のとおり承認、可決、同意されました。また、法人の経営状況などの報告がなされました。

今号では専決処分と6月補正予算の主なもの、意見書・請願(7頁)についてを主にお知らせします。

## 議案ピックアップ

- ◆市長提出議案 …………… 11件
- ◆請願 …………… 2件
- ◆委員会提出議案 …………… 2件
- ◆議員提出議案 …………… 1件

全ての議案の審査結果は市議会ホームページをご覧ください。



## ●議案第39号 専決処分の承認を求めることについて (令和5年4月26日専決)

### 子育て世帯生活支援特別給付金事業 7,699万2千円

食費、電気代等の物価高騰に直面し、特に影響を受ける低所得の子育て世帯の生活を支援するため、特別給付金を支給する。

- 対象者 低所得のひとり親世帯 (児童扶養手当受給者等)  
低所得のひとり親以外の世帯 (令和4年度の受給者等)
- 給付額 子ども1人あたり5万円

## ●議案第48号 令和5年度白河市一般会計補正予算 (第2号)

主な内容

### 電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金事業 1億8,279万7千円

電力・ガス・食料品等の価格高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい低所得世帯に対して、給付金を支給する。

- 1、重点支援給付金
  - ①令和5年度住民税が非課税の世帯へ3万円
- 2、重点支援給付金 (市独自事業)
  - ①令和5年1月以降の家計急変世帯へ3万円
  - ②令和5年度住民税均等割のみ課税世帯へ1万円



議会が議決すべき条例や予算などについて、市長が議会に代わって決定すること。処分を行うためには、地方自治法の規定により、議会が成立しないことや緊急を要するため議会を招集する時間的余裕がないことなどの一定の要件が求められます。処分を行った後に、市長は次の議会においてこれを報告するとともに、議会の承認を求めますが、承認が得られなかったとしても当該処分の効力には影響はありません。

# ◆ 請 願

請願第2号

## 「国の『被災児童生徒就学支援等事業』の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書」の提出を求める請願書

〈請願者〉 福島県教職員組合 中央執行委員長 瀬戸 禎子

〈要 旨〉 福島の復興・再生に向けて手厚い支援が実施されているが、引き続き被災者に寄り添う就学支援は必要である。東日本大震災によって経済的に困窮している家庭の子どもたちの就学・修学を保障するため、令和6年度以降も、全額国庫で支援する「被災児童生徒就学支援等事業」の継続と、十分な就学支援に必要な予算確保を国へ要望する意見書を提出すること。

請願第3号

## 地方財政の充実・強化を求める意見書提出請願書

〈請願者〉 日本労働組合総連合会 福島県連合会 白河地区連合会 議長 藤田 隆司

〈要 旨〉 いま、地方公共団体には、さまざまな社会情勢により、極めて多岐にわたる役割が求められつつある。このため、2024年度の政府予算と地方財政の検討にあたっては、物価高騰等も勘案しながら、歳入・歳出を的確に見積もり、地方財政の確立を目指すよう求める。諸課題の解決には、地方財政の充実、強化が不可欠となるので、十分な地方一般財源総額の確保を図ることや、十分な社会保障経費の拡充を図ることなどの事項について、政府関係機関に対し、意見書の提出を求める。

議会運営委員会の採決

採 択

# ◆ 意見書 (委員会提出議案)

本議会の採決

請願・意見書全会一致で採択され、関係機関に意見書を提出しました。

意見書案第4号

国の『被災児童生徒就学支援等事業』の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書

意見書案第5号

地方財政の充実・強化を求める意見書

採 択

# ◆ 意見書 (議員提出議案)

意見書案第3号

国による給食費の無償化が早期に実現されることを求める意見書

採 択

〈提案議員〉 大竹 功一 議員

〈要 旨〉 2022年の出生数は77万747人と、少子化の加速が止まらない状況であり、子育て世代の負担軽減による子どもを産み育てやすい環境の整備は喫緊の課題である。地方自治体においては、小中学校の給食を無償化する団体が増加しているが、多くの自治体では給食費の無償化による財政負担が重くのしかかり、実施したくてもできない自治体がある。ついては、国が行う「異次元の少子化対策」の一環として、「義務教育における給食費の無償化」を早期に実現することを強く求める。

## 年1,000円徴収される森林環境税、国と県の二重課税となる懸念は？

「議案第41号 白河市東日本大震災による被災者に対する市税等の減免に関する条例の一部を改正する条例」のほか、議案4件が付託され、いずれも原案のとおり可決されました。

### ● 議案第40号 白河市税条例の一部を改正する条例 森林環境税の導入に係る規定の整備

**Q** | 令和6年度より年1,000円の国税徴収となる森林環境税において、国と県の二重課税ではとの指摘があるが、市の見解は？

**A** | 国の森林環境税は、主に市町村が新たに行う森林の公的管理の財源として創設されるものである。国、県それぞれの役割分担の下で効果的に活用されるものと認識しているが、なお、税の使途について適切に説明するよう求めていく。



福島県森林環境税を活用した「体験学習」

### 特定小型原動機付自転車（電動キックボード等）を新たに定義

**Q** | 今回の条例改正と実際の運用の関連性は？

**A** | これまでも原動機付自転車（原付）として課税していた。今回新たに、当該車両の区分が設けられたことから、条例に明記した。税額の変更はない。

## 自主防災組織育成助成金の事業概要は？

「議案第43号 白河市印鑑条例の一部を改正する条例」のほか、議案2件が付託され、いずれも原案のとおり可決、同意されました。



仮置き場となっていた土地(旗宿大久保地内)

### ● 議案第49号 不動産の取得について 仮置き場となっていた土地の利用は？

**Q** | 今後の利活用の方法はどのようになるのか。

**A** | 地域振興に資するよう、地元町内会の意見を伺いながら進めていきたい。

### ● 議案第48号 令和5年度白河市一般会計補正予算（第2号） （災害対策事業）

#### 助成金の事業の内容は？

**Q** | 自主防災組織育成助成金の概要と今年度の交付団体は。

**A** | 当助成金は、一般財団法人 自治総合センターが宝くじの収入を財源とし、防災資機材の整備を補助するものである。今年度の交付団体は三番町町内会自主防災会で、LED投光機、トランシーバーや発電機などを購入する予定である。



以前に交付された防災備品

## 低・中間所得層の負担軽減を図るため、白河市国民健康保険税条例の一部を改正

「議案第48号 令和5年度白河市一般会計補正予算（第2号）」のほか、議案3件が付託され、いずれも原案のとおり承認、可決されました。

### ● 議案第42号 白河市国民健康保険税条例の一部を改正する条例 課税限度額及び軽減判定額の引き上げで低・中間所得層の負担が軽減

Q | 課税限度額、軽減判定額の引き上げによる影響は？

A | 「高所得層の負担上限引き上げ」「軽減対象世帯の増加」により、低・中間所得層の負担が軽減される。

現地調査 5月9日

### 「白二中」新校舎建設の進捗状況

校舎はほぼ完成し、残すところ校庭と外構の整備となりました。真新しい校舎は我々世代から見ると羨ましい限りです。

防犯カメラが校舎全体に25台付いているとの事です。本当はない方が望ましいのですが、少しでも犯行の抑止力になることを願います。



## 奥州街道線を市道に認定

「議案第45号 社会資本整備総合交付金事業工業の森西線ほか道路改良舗装工事請負契約について」のほか議案1件が付託され、いずれも原案のとおり同意、可決されました。

### ● 議案第47号 市道路線の認定について 新たに市道に認定する奥州街道線は約5キロメートル

Q | 国道294号白河バイパス開通に伴い、市道に認定する路線の延長と管理者は。

A | 延長は女石地内の国道4号交差点から与惣小屋地内の国道289号交差点まで、約5キロメートルである。国道294号白河バイパスと重なる区間については、これを重複する区間として、あわせて認定する。県から移管後は、市が管理することになる。

現地調査 4月26日

### 白河観光ステーション

令和5年4月26日、白河駅に旧白河物産観光協会からリニューアルされた「しらかわ観光ステーション」の内覧会に参加をして、現状を確認しました。

建物は2階建てで、1階には、観光案内スペース、白河ラーメンデータベース、地元製品の展示やジオラマが鑑賞できるように工夫されており、さらには観光案内スペースのカウンターで地元の銘酒を試飲できるようになっていました。また、2階は、事務所があり、スタッフが常時対応できるようになっていました。

また、前日にテレビの取材があり、特に白河ラーメンデータベースについて取り上げており、お昼や夕方の時間帯に放映されていました。

新型コロナウイルス感染症が季節性インフルエンザ等と同じ5類に引き下げられたことから、多くの観光客が訪れることが予想されます。「しらかわ観光ステーション」に立ち寄ってもらいながら、本市の観光を満喫していただきたいと思います。



タッチパネルでお好みのラーメンが検索できます



◇一般質問とは行政全般にわたり、市長などの行政側に対し、現状や見通しを質問したり、あるいは報告や説明を求めたりすることです。

◇時間制限は質問、答弁時間を含めて60分以内です。

◇一般質問をする議員はその要旨を事前に通告することとなっています。

# 一般質問

6月定例会では9名の議員が一般質問を行いました。  
本会議のネット中継及び録画配信を行っています。  
ホームページや各議員のQRコードから視聴できます。



6月定例会において延べ35名の方が傍聴にお越しくださいました。ありがとうございました。

## 喫緊の課題である人口減少問題はどうように

女性が両立できる環境と社会全体で子育て支援する気運醸成が重要



北野 唯道 議員



Q コロナ禍により疲弊した市内経済の復興や、少子高齢化の進展による人口減少問題について

A 大手企業の好業績などを背景に株価は高値を更新し、国内経済には明るい兆しも。本市においても新規就業者支援や計画的な森林整備、中小企業の体質強化や新規創業支援など、各種取り組みを総合的に講じながら、産業全体の活性化を図っていく必要があると考えている。

少子化や人口減少についても早急な対策をしなければならぬ。そのためには子育て世帯の経済的負担の軽減や男性育休取得の配置基準の見直しや放課後児童クラブで過ごす時間の充実など、女性が「仕事」と「家庭」を両立できる環境をつくるとともに、地域や社会全体で子育てを支援する機運を醸成することが重要。

Q 令和4年度の決算見込みについて

A 決算見込額は5月31日現在で、歳入346億4千万円、歳出329億8千万円、歳入歳出差引額16億6千万円。翌年度へ繰り越すべき財源（繰越明許等）1億9千万円を差し引いた実質収支は14億7千万円。



## 新白河駅南湖線の安全対策について

減速を促す看板を設置した



大花 務 議員



Q 国道294号白河バイパスの開通に伴い、ベイシアから南湖バイパスまでの新白河駅南湖線を通行する車両が増加し、農業従事者から危険を感じるとの意見がある。農業従事者の安全を守るための対策について

A 新白河駅南湖線の西大沼地内にあるミニストップから国道294号白河バイパスまでの区間は、周辺が農地であり、農繁期は農業従事者が頻りに利用する道路である。また、この区間は白河バイパスの開通に伴い、新白河方面へ走行する車の交通量が増大しており、農業従事者より安全対策を求める要望があったことから、5月に減速を促す看板を設置したところである。引き続き、交通状況を確認し、効果的な安全対策を講じる。

Q 今年の敬老会と敬老祝い金の増額について

A 9月27日にコミニクスで開催する予定。敬老祝い商品券2千円は75歳以上の方全員に支給される。敬老祝い金増額は、団塊の世代が全員75歳以上になる「二〇二五問題」も控えていることから敬老会のあり方も含めて総合的に検討する。



# 本市郊外地域の生活の不便さへの対応策を伺う

地域自ら知恵を出して行政と地域で話し合いコラボしていきたい



佐川 京子 議員



持を図り、地域の振興を進めていく。

**Q** 公共交通の充実に  
ついて、循環バス路線  
延伸や路線  
バスの利活  
用を考えて  
ほしい。



空から見た五箇地区

**Q** 近頃本市郊外において  
日常生活の不便さから不安  
を訴える人が増えているが、  
本市郊外地域の振興につい  
て市長の考えを伺う。

**A** 市民の利便性向上を図  
ることは当然だが、地域の  
人々の自発的な活動の支援  
を通してコミュニティの維

**A** 本市の公共交通施策の「地域公共交  
通網形成計画」の新たな計画の策定の作  
業を進めているところなので、住民アン  
ケートなどを踏まえ検討を重ねてまい  
**Q** 放課後児童クラブについても一時預  
かりの実施を検討してほしい。

**A** 本市では、空き定員に余裕がない施  
設が多いので、現時点での導入は難しい  
**Q** こどもの個性を伸ばす教育が求めら  
れているが、教育長の考えを伺う。

**A** 児童生徒の成長の理解に努め、個々  
の興味・関心・意欲等を踏まえて指導支  
援し、個性を生かしながら生き生き学べ  
るよう各学校に指導してまいります。

# 市民協働を推進するために専門部署の設置を!!

他自治体の事例を参考に検討していく



緑川 摂生 議員



協働して取り組むことが、従来にも増し  
重要である。

**Q** 市民協働専門部署が必要では。  
**A** 市民協働に関する業務は「しらかわ  
市民活動支援会」に委託している。相談  
体制の強化や充実を図るとともに、市民  
ニーズや他の自治体の事例も参考に、専  
門部署のあり方について検討をしていく  
**Q** 市民が来庁された際の窓口対応を伺  
う。

**A** 市役所を訪れるお客様には、忙しい  
中、不安や話しにくいことの相談など  
様々な方がい  
る。窓口では  
笑顔でお迎え  
し、気持ちの  
こもったあい  
さつでお見送  
りするよう取  
り組んでいる。  
行政は最大  
のサービス業  
である。



**Q** 市民協働への考えを問  
う。  
**A** 市民が安心して暮らし  
将来にわたり地域社会の維  
持発展を図るには、行政、  
自治会、市民活動団体、事  
業者などがその役割や責任  
を担い、信頼関係のもとで  
課題の共有と解決のために

# 自転車乗車中の致命傷の部位は？

約6割は頭部の負傷が要因



室井 伸一 議員



**Q** 自転車のヘルメットを  
購入した高校生以下の子ど  
もや高齢者に対して、費用  
の一部を助成してみてはど  
うか。

**A** 本市における過去3年  
間の自転車利用中の交通事  
故被害者数は令和2年が死  
亡者1名、負傷者6名、令  
和3年が負傷者4名、令和4年が負傷者  
6名となっている。自転車用ヘルメット  
の着用が努力義務となり、自転車利用の  
方が、身の安全を確保するだけではなく、  
周囲の歩行者などへの安全意識の向上や、  
交通事故防止にもつながり、重要であ  
ると考えている。

自転車用ヘルメ  
ット購入時の一  
部助成について  
は、警察署や関  
係団体と連携し  
ながら、先進地  
の事例も参考に  
検討してまい  
**Q** 子宮頸がんワクチンに対する周知及  
び啓発活動について

**A** 子宮頸がんワクチンは小学6年生か  
ら高校1年生の女性を対象に定期接種が  
行われている。周知等については、個別  
勧奨はがきの送付や厚生労働省からの通  
知による医療機関への周知をし、広報等  
で勧奨記事を掲載する。



# これで、運転免許証が返納できるか。との市民の声!

制度全体を多方面から検討し、関係機関と連携しながら、改善を図りたい



大竹 功一 議員



Q 最近、高齢者が起こす悲惨な交通事故が多発し、社会問題になっている。それに伴い、市民の中にも運転免許証を返納する高齢者が見受けられる。しかし、市民から、現在の公共交通網及び現在の支援制度では生活ができないとの声が挙がっている。市は現状をどのように把握し、今後どのような対策をしたいと考えているのか伺いたい。

A 返納制度については、市HPやチラシなどを活用し啓発活動を行っている。市民からは担当課に対し、移動手段が大変であるとの声が寄せられており、先進事例を参考にし、関係機関とともに地域公共交通網形成計画等により検討したいと考えている。また、現在の支援制度についても拡充を含め検討している。

Q 動物愛護行政について、これまでで寄せられた苦情に対してどのような対応をしているのか。

A ご指摘のいただいている事案等については、現地に赴き、関係者に説明している。今後も同様にしていきたい。



# 「ローカルフード法・条例」等による「農村の内発的発展」実現を

農村の農地集約化計画、新規就農・農産物地産地消等を支援する



荒井 寿夫 議員



Q 「内発的発展」とは何か、どう実現してきたのか、今後あるべき「農村の内発的発展」に関する考えは。

A 住民主体の地域資源等の合理的活用に関する概念。実現例は、中小企業支援「産業サポーター白河」設立、小峰城の文化資産継承等。そして農村の農地集約化計画や新規就農・農産物地産地消支援等の推進にある。

付言 現段階の農村の「交流型内発的発展」を要請する二つの視点、地球温暖化対策としての地域の脱炭素化と食料安全保障としての地域食料自給率向上、二つの体现例「地域循環共生圏」と「ローカルフード法案・条例」を提案したい。

Q 「脱炭素社会への転換」における農業・製造業・市民生活の脱炭素化を進めるのか。

A 農業はスマート農業等製造業は再エネ等の事例の上で団体と連携。市民生活は環境フォーラム等推進。

Q 「ジェンダーギャップ解消」を進めるのか。

A 男性の家事心援助講座、育休取得促進環境の推進等。

付言 SDGs視点の検討を。



人類がこの地球で暮らし続けていくために、2030年までに達成すべき目標

# こどもの貧困対策、調査数と調査項目の見直しを行うべき

今年度の調査では、十分な精査を行い進めていきたい



大木 絵理 議員



Q こども家庭庁の設置に伴い、子ども未来室と各部署の連携等における課題と今後の方向性は何か?

A 関係部署と連携しているが、家庭環境等の背景にも目を向けなければ本質的な解決に至らないケースも多くある。今後はさらに市民に寄り添った窓口対応と各課の切れ目のない連携を心掛けていく。

Q 高齢者の支援に関する各部連携強化を行うべきだと思いが市の考えは?

A 各関係機関に直接情報提供ができるよう連携を図っていく。

Q 国の「こどもの貧困対策に関する大綱」と同様に、市の調査対象と調査項目の見直しをするべきだと思いが市の考えは?

A 十分な調査対象の確保と調査項目の精査を行った上で、今年度の調査を進めていく。

Q 小中学校における保護者との連絡手段は、スマホアプリを導入し、利便性の向上と教員の業務削減をするべきだと思いが教育長の考えは?

A 学校評価アンケート等ではデジタル化が進んでいる。今後も校長会等で協議をしながら検討していく。



# 80億超の余裕財源を使い、もっと市民要求に応えるべき



深谷 弘 議員

選挙のためなら市民要求に応える方が有利だが、将来のためには積立が必要(市長)

**A** 徹底した事務事業の見直しによる歳出削減、補助金等の最大限活用、起債(借金)の場合は交付税措置(国から補てん)の高いものを選択、財源確保や実質的な債務の抑制に努めてきた。また、企業誘致や徴収率の向上で市税を増やしてきた。

**Q** 余裕財源(財政調整基金、減債基金、公共施設等整備基金)が常に80億円超が積立てられている。積立額の目標はあるのか。生きた金として市民要求にもっと応えるべきではないか。

**A** 積立の目標・基準はない。かつて基金がないため潰れた地方自治体が多くあった。選挙のためなら市民要求にどんどん応える方が有利であるが、近い将来の公共施設等整備や複合施設建設などのためにこれくらいあれば間に合うだろうという判断である。



**財政運営について**

**Q** 財政健全度を示す財政指標・実質公債費比率が、合併直後(2006年度)の23・4%から、15年後(2021年度)には、9・5%へと改善している。この間、どのような取り組みを行ってきたのか。



## 令和4年度 政務活動費収支報告

政務活動費は、議員の調査研究その他の活動に資するため、必要な経費として市から交付されるものです。本市議会では一人あたり月額 2万円、年額 24万円を上限として交付し、残額が生じたときは返納することになっています。



市議会ホームページでも公開しています。

### <経費の範囲>

- **調査研究費** 市の事務、地方行財政等に関する調査研究及び調査委託に関する経費
- **研修費** 議員が研修会を開催するために必要な経費、団体等が開催する研修会の参加に要する経費
- **広報費** 市政及び議員の活動について市民に報告するために要する経費
- **広聴費** 市民からの市政及び議員活動に対する要望及び意見の聴取、住民相談等の活動に要する経費
- **会議費** 議員が各種会議を開催するために必要な経費、団体等が開催する意見交換会等各種会議の参加に要する経費
- **資料作成費** 議員の活動に必要な資料の作成に要する経費
- **資料購入費** 議員の活動に必要な図書、資料等の購入に要する経費

(単位: 円)

NO	氏名	交付額	支出額	支出内訳							返納額	個人負担額
				調査研究費	研修費	広報費	広聴費	会議費	資料作成費	資料購入費		
1	大木 絵理	240,000	276,206	17,203	91,026	155,986	0	250	11,741	0	0	36,206
2	吉見 優一郎	240,000	235,408	20,000	51,150	62,158	0	0	68,000	34,100	4,592	
3	鈴木 裕哉	240,000	248,463	28,311	157,994	62,158	0	0	0	0	0	8,463
4	高 嶋 裕	240,000	135,426	0	51,150	62,158	0	0	22,118	0	104,574	
5	戸倉 宏一	240,000	201,841	87,001	40,840	74,000	0	0	0	0	38,159	
6	荒井 寿夫	240,000	459,888	51,280	72,496	336,112	0	0	0	0	0	219,888
7	根本 建一	240,000	245,108	0	91,026	154,082	0	0	0	0	0	5,108
8	室井 伸一	240,000	216,063	12,941	157,120	0	0	0	13,002	33,000	23,937	
9	緑川 撰生	240,000	254,145	0	91,026	163,119	0	0	0	0	0	14,145
10	柴原 隆夫	240,000	0	0	0	0	0	0	0	0	240,000	
11	菅原 修一	240,000	357,562	12,941	91,026	187,451	0	0	42,227	23,917	0	117,562
12	北野 唯道	240,000	380,737	0	0	380,737	0	0	0	0	0	140,737
13	水野谷 正則	240,000	240,583	47,074	157,120	27,197	0	0	9,192	0	0	583
14	佐川 京子	240,000	234,811	74,060	41,133	106,975	0	0	12,643	0	5,189	
15	藤田 文夫	240,000	216,668	87,001	40,840	74,000	0	0	14,827	0	23,332	
16	大花 務	240,000	319,931	0	91,026	192,390	0	0	36,515	0	0	79,931
17	縄田 角郎	240,000	195,386	0	157,120	0	0	0	6,790	31,476	44,614	
18	石名 国光	240,000	242,250	74,060	41,133	50,400	0	0	76,657	0	0	2,250
19	高橋 光雄	240,000	391,429	27,807	157,120	206,502	0	0	0	0	0	151,429
20	大竹 功一	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
21	山口 耕治	240,000	246,030	109,006	40,840	74,000	0	0	22,184	0	0	6,030
22	須藤 博之	240,000	240,593	74,060	41,133	0	0	0	0	125,400	0	593
23	深谷 弘	240,000	124,445	0	0	0	0	0	81,600	42,845	115,555	
24	筒井 孝充	240,000	175,284	32,591	23,400	62,158	0	0	57,135	0	64,716	
合計		5,520,000	5,638,257	755,336	1,685,719	2,431,583	0	250	474,631	290,738	664,668	782,925
			構成割合	13.4%	29.9%	43.1%	0.0%	0.0%	8.4%	5.2%		

\*支出額のうち交付額を超える金額については個人負担です。

# 9 月定例会の予定 正式には9月6日の開会日に決定します。

● 時間：午前10時から ● 場所：本庁舎4階 議場

9月 6日(水)	本会議【開会、会期決定、提案理由説明】
12日(火)	本会議【一般質問・質疑1日目、委員会付託(請願・陳情)】
13日(水)	本会議【一般質問・質疑2日目】
14日(木)	本会議【一般質問・質疑3日目、委員会付託(議案)】
19日(火)	委員会【各常任委員会・付託案件の審査】
20日(水)	決算審査特別委員会【開会・審査】
21日(木)	決算審査特別委員会【審査】
25日(月)	決算審査特別委員会【総括質疑・表決】
28日(木)	本会議【各常任委員長報告、質疑、討論、表決、閉会】

本会議はインターネット中継及び録画配信を行っています。

こちらのQRコードを読み込んでください。



## 「自分の目で見て感じる経験を」

市議会では児童生徒の皆さんの見学を心よりお待ちしております。

関辺小6年生



関辺小6年生が社会科の「私たちの暮らしと政治」を学ぶために6月定例会の一般質問を傍聴。議員と市との真剣なやり取りを一生懸命メモをとりながら身近な政治を学習しました。

小学3年生が社会科学習の一環で市役所施設見学学習を行いました。

議場では議会を身近に感じられるよう、質問形式で楽しく学習しました。

白五小3年生



毎年、社会科の学習で市役所に来てくれる白五小3年生。(5月23日)

## 編集後記

白河市議会へようこそ!

今回もたくさんの小学生、中学生のみなさんが市議会を見学や傍聴に来てくださいました。ありがとうございます。

これからも新メンバーで、読みやすい紙面づくりにとことんこだわって参りますので、ご愛読くださいます様よろしくお願ひ申し上げます。

委員長 佐川 京子

議会報編集委員会

委員長 佐川京子 副委員長 戸倉宏一  
委員 永山均、佐川琴次、根本建一、大竹功一

五箇小3年生



市役所で職場体験中の東北中2年生の3名も小学生の議場見学学習に参加し、市役所の仕事について分かりやすく教えていました。(6月30日、五箇小3年生と東北中2年生)